

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年8月23日

「次世代シーケンサーを用いた膵炎関連候補遺伝子の全国的調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部遺伝子解析倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	710
研究課題名	次世代シーケンサーを用いた膵炎関連候補遺伝子の全国的調査
所属(診療科等)	消化器内科
研究責任者(職名)	小口貴也(助教)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2024年3月31日
研究の意義、目的	次世代シーケンサーを用いて、膵炎関連遺伝子を網羅的かつ全国的に解析・調査を行い、本邦における膵炎関連遺伝子異常を解明することが目的です。
対象となる方	2011年10月から2024年3月末日の期間に当院で慢性膵炎及び急性膵炎について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など／血液、組織など
他機関への試料・情報の提供方法	末梢血管より採取した血液を郵送することにより提供します。
研究方法	採取した血液から膵炎と関連が疑われる遺伝子の解析を行います。
共同研究機関名	東北大学(正宗 淳)、近畿大学(竹山 宜典)、東京医科大学(糸井 隆夫)、九州大学(小川 佳宏)、藤田医科大学ばんだね病院(三好 広尚)、関西医科大学(長沼 誠)、信州大学(小口 貴也)、京都府立医科大学(伊藤 義人)、東京女子医科大学(清水 京子)、倉敷中央病院(上野 真行)、東京大学消化器内科(中井 陽介)、名古屋大学(藤城 光弘)、東邦大学(五十嵐 良典)、奈良県立医科大学(美登 路昭)、京都大学(妹尾 浩)、神戸大学(児玉 裕三)、岐阜大学(清水 雅仁)、手稲溪仁会病院(瀧沼 朗生)、済生会横浜市東部病院(十河 剛)、新潟大学(寺井 崇二)、北野病院小児科(塩田 光隆)、鹿児島大学(井戸 章雄)、旭川医科大学(水上 裕輔)、帝京大医学部附属溝口病院(土井 晋平)、獨協医科

	大学(入澤 篤志)、国立病院機構九州医療センター(河邊 顕)、大阪母子医療センター(萩原 真一郎)、市立福知山市民病院(阪上 順一)、川崎医科大学(草加 浩康)、和歌山県立医科大学(北野 雅之)、札幌医科大学(仲瀬 裕志)、大阪大学 小児科学(別所 一彦)
研究代表者	主任施設の名称: 東北大学病院・消化器内科 研究責任者: 正宗 淳
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 小口貴也(第二内科 助教) 電話: 0236-37-2634

外来診察日に採取する血液の一部を頂き研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である東北大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。